

# 解決、学力低下問題

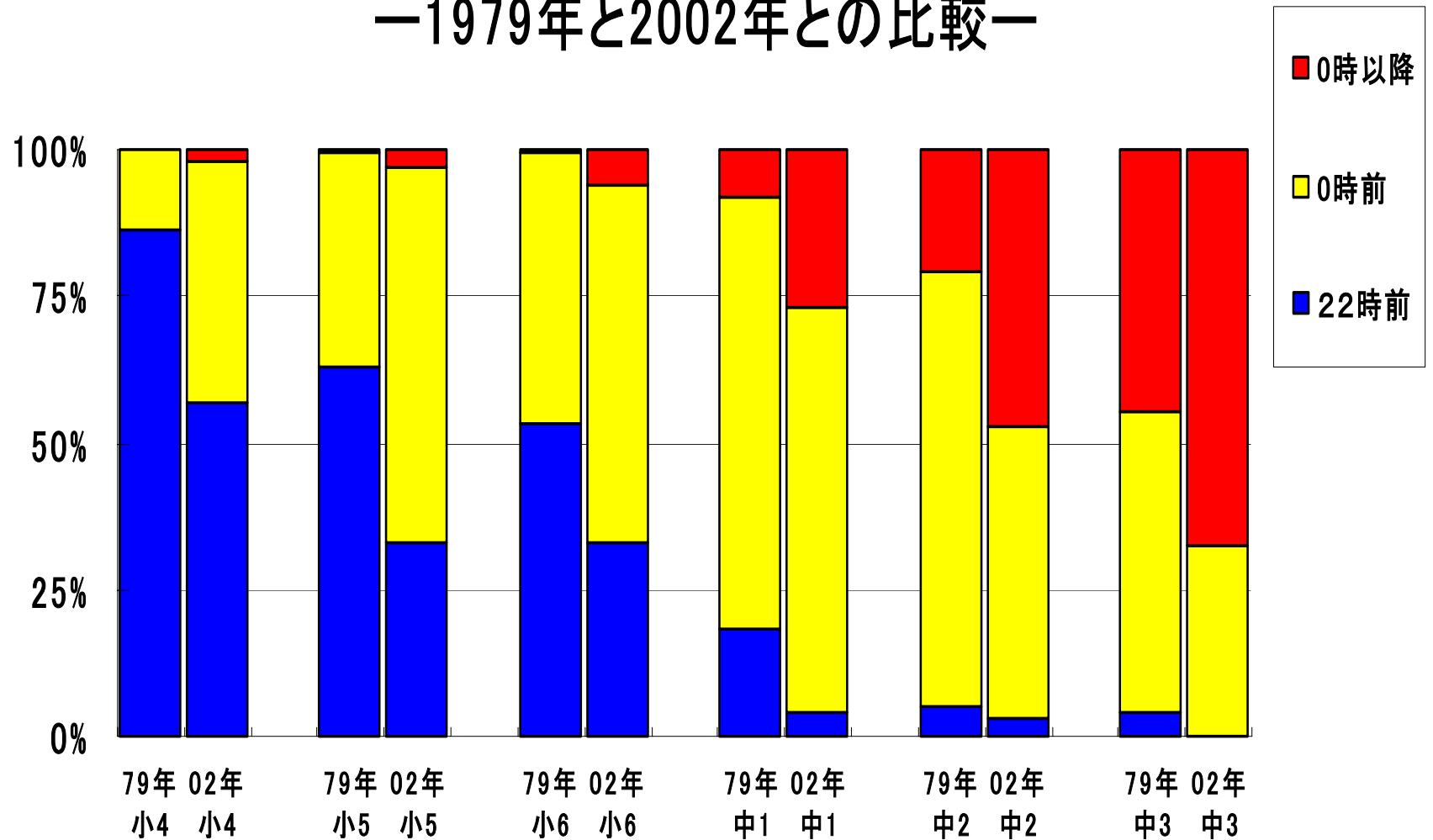
## — 日本教師よ、胸を張ろう —

尾道市立土堂小学校  
校長 陰山英男

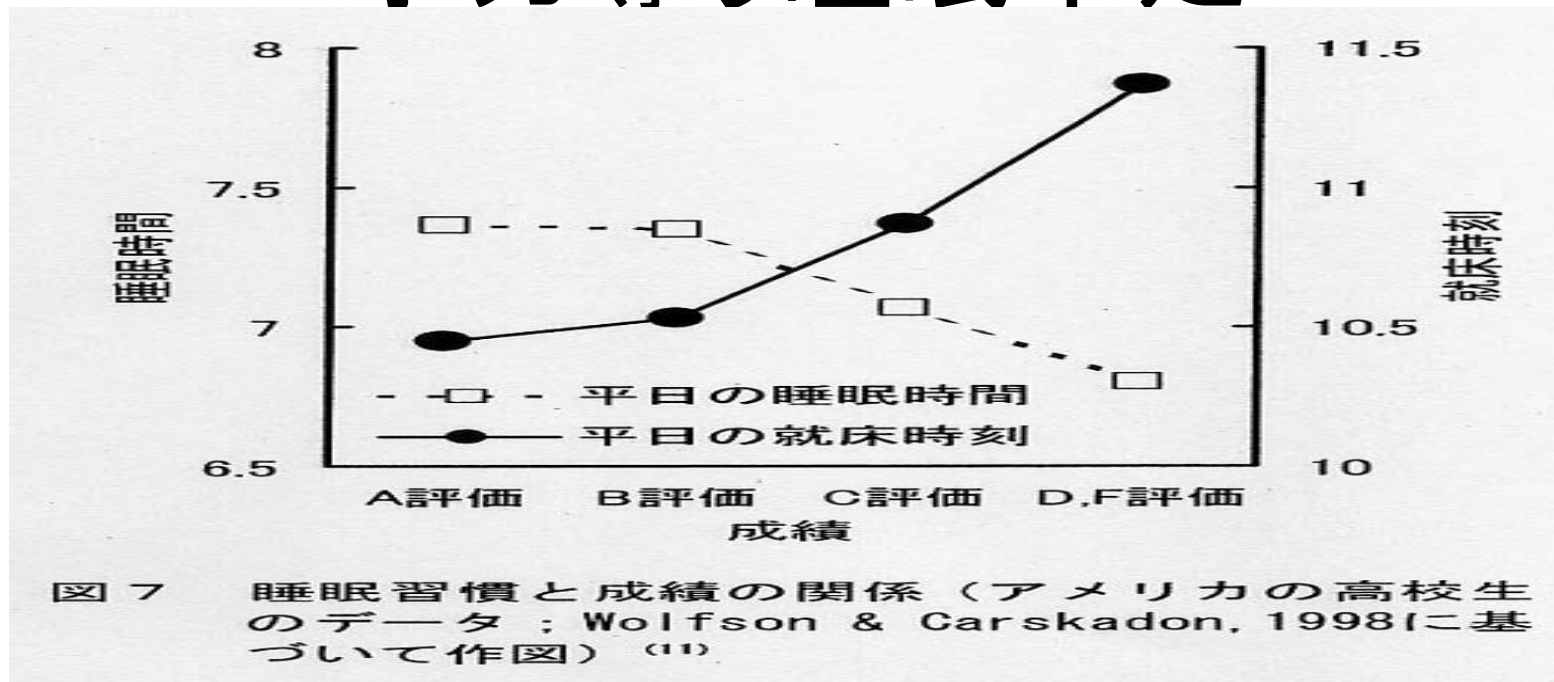
# 学力低下は、子どもの元気の喪失現象

- 睡眠不足
- 食事栄養の悪化
- 多忙による家庭団欒崩壊
- 競争原理と将来不安

# 小中学生の就床時刻の変化 —1979年と2002年との比較—



# 学力奪う睡眠不足



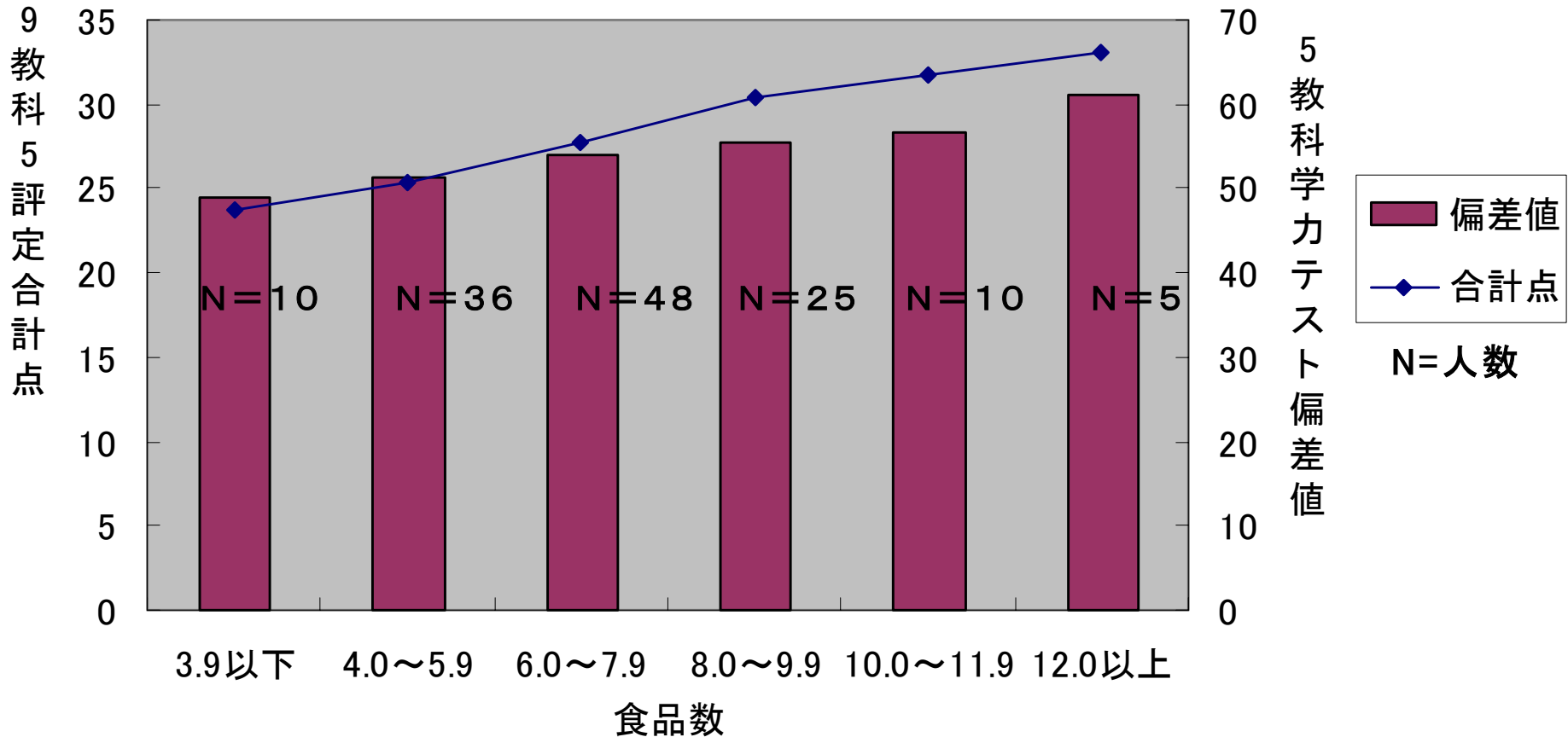
広島県の基礎基本調査の結果より

	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	以上
国語	52	62	66	70	71	70	65
算数	53	64	70	74	74	74	68

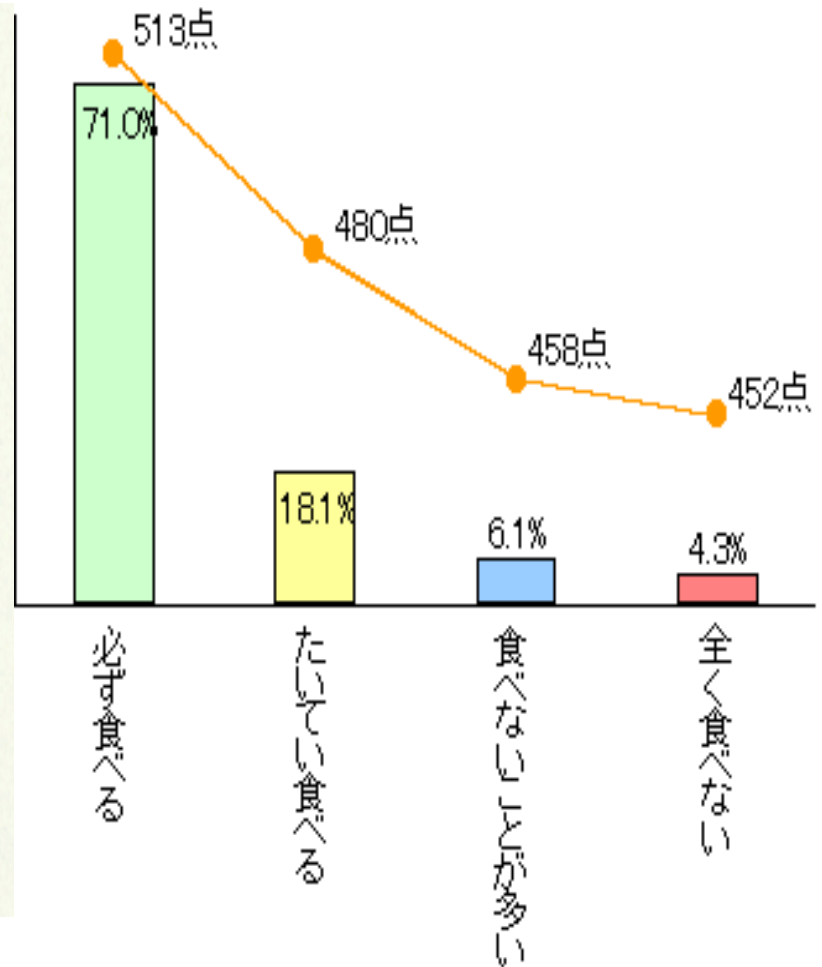
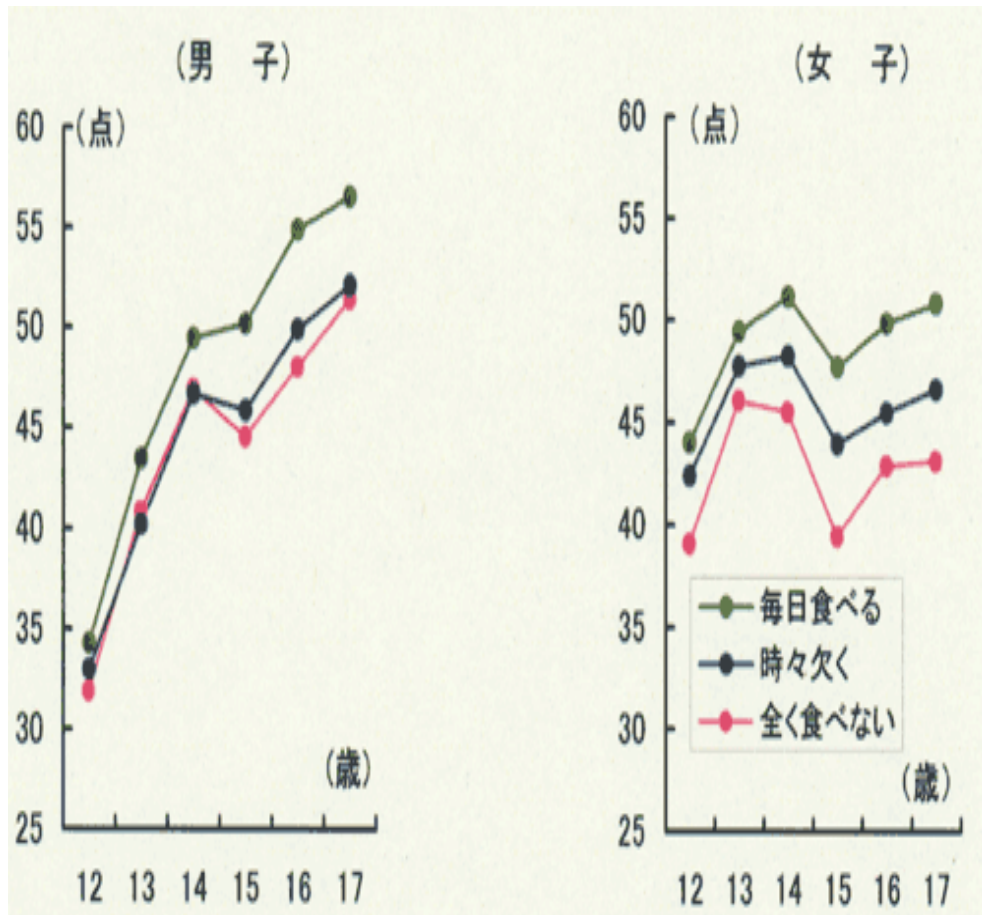
# 学力向上の鍵は栄養豊かな食事

(45点満点)

一食あたりの摂取食品数と学習成績および5教科 学力テスト偏差値



# 学力・体力伸ばす朝御飯



朝食と体力測定得点の相関関係 45万人学カテストと朝食の相関関係

# 子どもの生活を崩したものの

- 子どもの睡眠は、何に奪われたか
- ディスプレー依存症  
テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話  
1日2時間テレビをみると  
全学習時間(708時間) < テレビ視聴時間(730時間)
- 慌ただしい生活による食生活の悪化
- 追い打ちをかけた新しい学力観  
→ 努力の軽視、基礎の軽視、生活指導の軽視

# 土堂小学校の挑戦

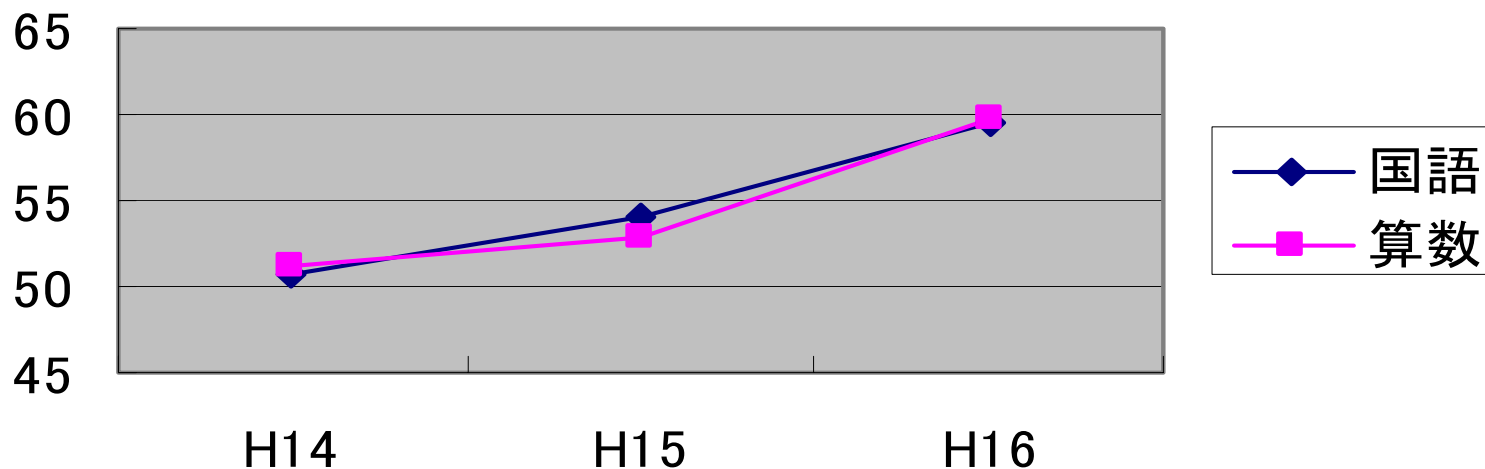
- 尾道市教育改革プラン21
- 土堂小学校はコミュニティスクール
- 地域学校協議会のミッションステートメント
- 校長公募
- 教職員の公募
- 学区の拡大による児童の募集
- 自由な教育内容の提案



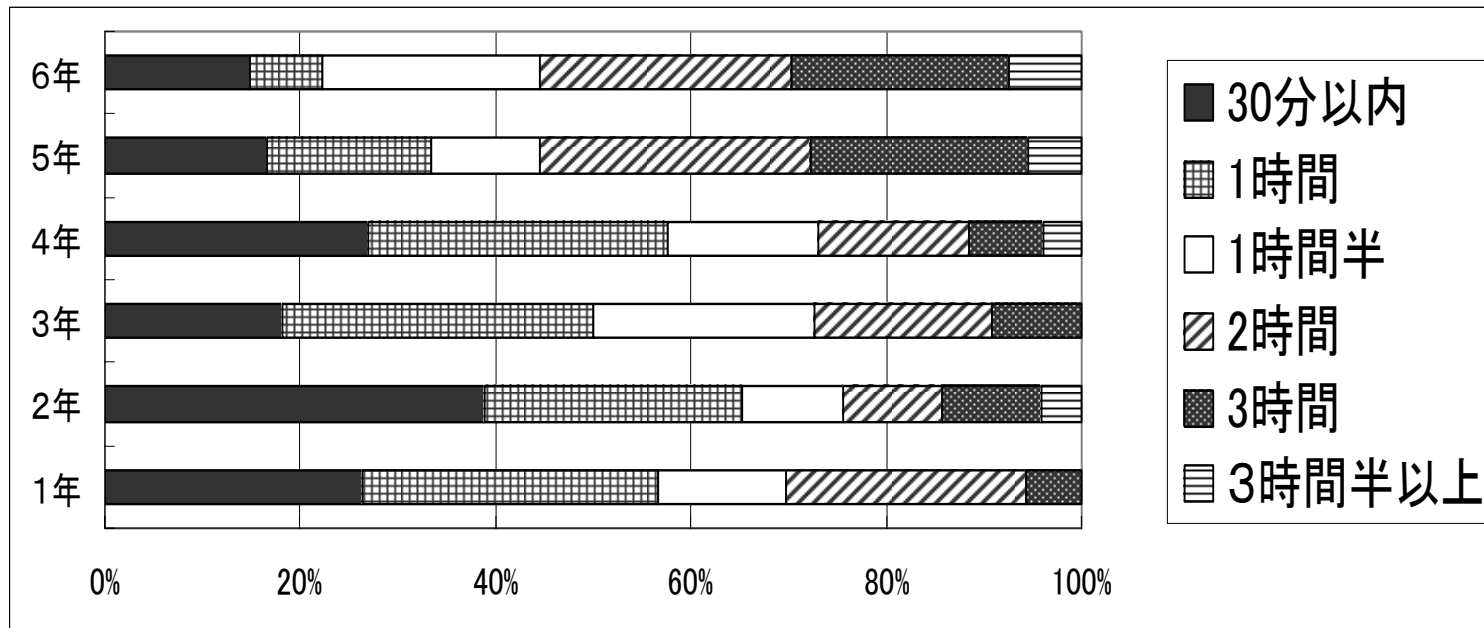
# 基礎学力向上は一年で十分

- 国語 学校平均偏差値 59、5 (昨年度53、9)
- 算数 学校平均偏差値 59、7 (昨年度52、9)
- 学区による偏りは、誤差範囲内で一切なし。
- 知能指数120以上 6年25% 1年42%

NRT偏差値の推移

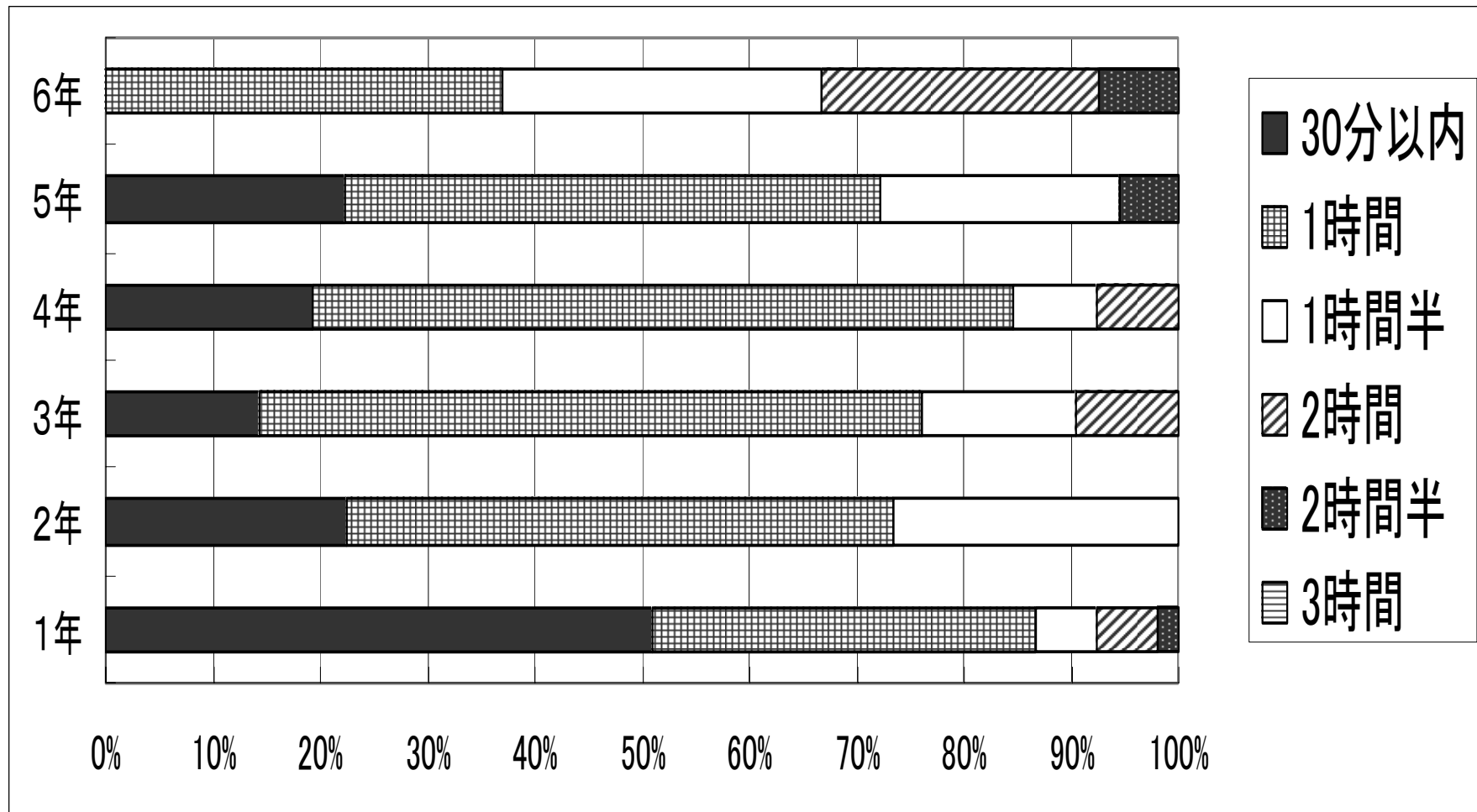


# 長くないテレビの視聴時間



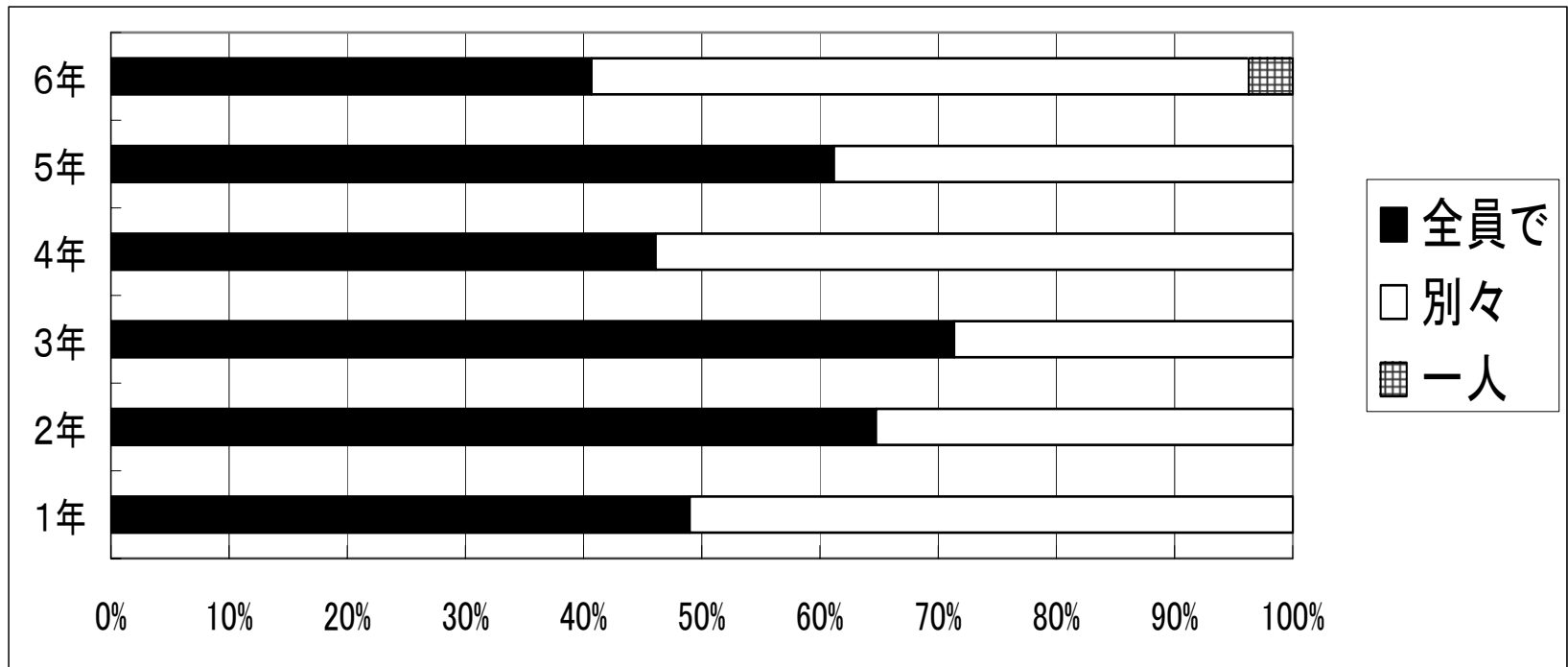
- テレビ視聴時間2時間以内
- 広島県小学校5年生 43、3%
- 土堂小学校5年生 72、4%

# そんなに長くない学習時間

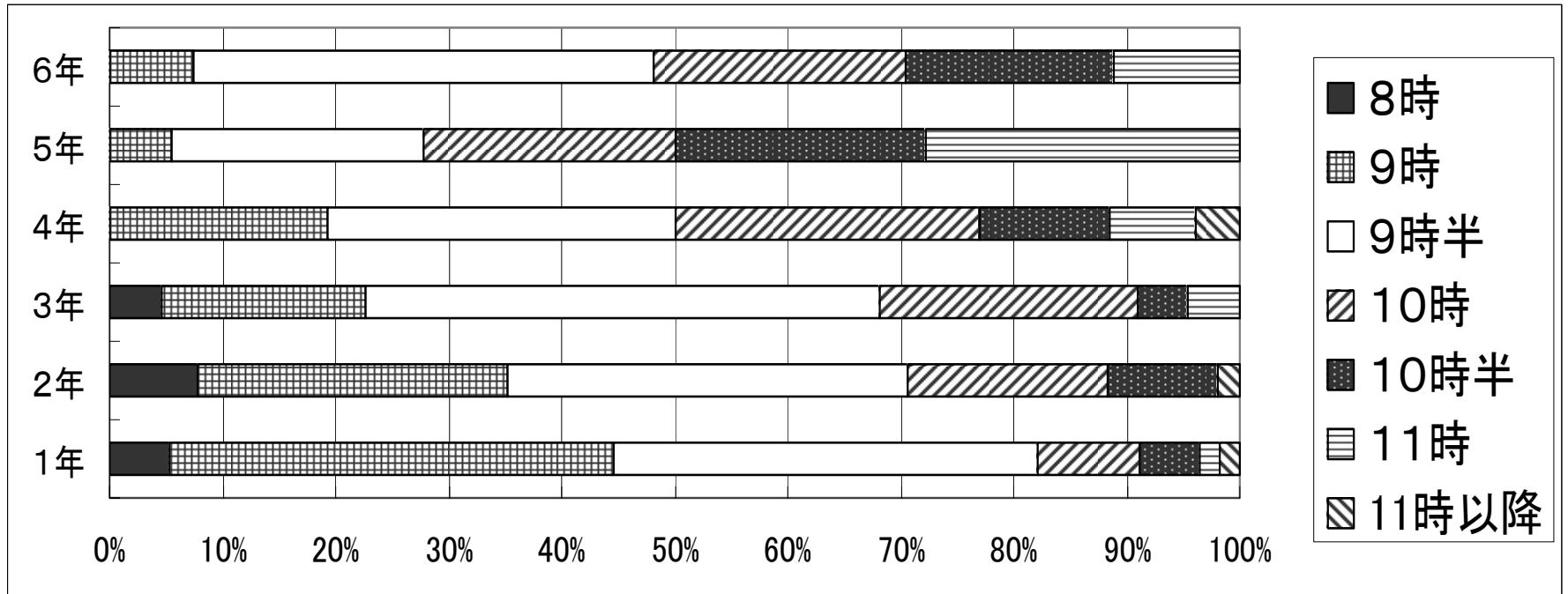


# 家族に対話がある

- 夕食は誰と食べていますか。



# 夜も早い



# 生きる力(生命力)の向上の 人間性への波及効果

- あいさつの声が大きくなる。
- 活発に遊ぶようになる。(体力の向上)  
↓
- コミュニケーション能力の向上(精神力の向上)

5年生の体力測定結果(男子)

	握力	上体 起し	前屈	横跳 び	シャト ル	50m 走	幅跳 び	ソフト 投	得点
全国	18	19	33	41	48	9.3	153	26	54
土堂	20	22	35	47	48	9.2	184	28	65

# 土堂小方式のポイント

- 早起き、早寝、朝御飯
- ディスプレー依存症にしない
- 家族団欒
- 読み書き計算の徹底反復
- みんなで活動、からだ全部で活動  
→朝を制するものがすべてを制する。  
→子どもが元気、これがすべて。

# なぜ、議論は迷走したか？

1. 事実認識システムの欠如
2. 批判から入る議論
3. 対症療法ばかりで根本が残る。
  - 地理は暗記教科→何ヶ国学習するか？
  - 読み書き計算の反復学習は罪悪か。
  - 夢のない職業→校長、教頭、教師
  - 生活習慣の問題が議論されない不思議。

# 教育をよくする方法

- 学力向上とは→子どもを元気にすること
- 教育改革とは→教師や校長を元気にすること。
  
- そのために必要なこと
  1. アウトプットをイメージして議論すること。
  2. 社会全体のシステムに注意すること。
  3. 事実に基づいた議論ができるシステムを作ること